

医療・シルバー

セントケア

リハビリのプログラムの流れ

午前	午後	
9:00	13:30	到着・健康チェック
9:50	14:20	準備体操 個別の機能訓練 (午後のみ入浴)
11:50	16:20	運動後の体調チェック
12:15	16:45	送迎



自動車の送迎は高齢者など介護施設を30分以内で往復できる豊島区、板橋区、北区の一部エリアに限る。

施設はビルの1階を改修。広さは100平方メートル超でトイレ2台や一度に2人が入れる浴室を設ける。足首やひざ関節の可

基本ワクチン承認取得

バクスター「H7N9型」に応用

米製薬大手の日本法人、バクスター(東京・中央)は7日、インフルエンザの基本ワクチンの製造販売承認を4月26日付で取得したと発表した。現在主流の方法の半分程度の期間で生産できるタイプで、中国で感染例が報告されている鳥インフルエンザの「H7N9型」のワクチン製造に活用できる。

承認されたのは「細胞培養法」という手法でつく

くるインフルの基本ワクチン。様々なタイプのワクチンに対応できる「プロトタイプ」と呼ばれる基本ワクチンで、バクスターは昨年9月に承認を申請していた。

承認を受け、ウイルス株を入手すればバクスターはH7N9型のワクチンを生産できるようになる。実際に国内で販売するには完成したワクチンで製造販売承認を取得する必要があるが、通常1

年程度かかる承認までの期間は短縮される見通

環境関連商品などを販売するグローバルキャスト(名古屋)はウイルスを不活性化し細菌を分解する機能がある特許技術「ナノダイヤモンド触媒」を利用したマスクを今秋に発売する。防臭力にも優れるマスクで繰り返し使える。中部を中心にドラッグストア向けなどに販売し、初年度1億

2000万円の売り上げを目指す。マスク専門メーカーの横井定(同市)と共同開発した。不織布のマスクは3層構造で、数回使える。

特殊触媒を利用 防臭力も長続き

北里環境科学センター(相模原市)の検証結果によると、ナノダイヤ触媒はA型インフルエンザウイルス(H1N1型)を99%以上不活性化させる。国内では鳥インフルの発生や微小粒子状物質の発生やPM2.5に対する懸念が高まっていることから、「高機能マスクの需要拡大が見込める(名古屋)

国内で販売されている高機能マスクには「光触媒」を利用したものがあるが、光の届かないところでは抗菌などの機能が十分に発揮されないという。

鶏卵からつくる一般的なワクチン製造方法に比べ、細胞培養法は生産にかかる時間が短い。バクスターはH7N9型のワクチンは半年以内に生産できるという。

同社は医薬品販売の「コジマ薬品」を34店舗

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【宇都宮】ビックカメラ傘下のコジマは自社サイト「コジマネット」で医薬品や健康食品の販売を始めた。風邪薬や胃腸薬、栄養サプリメントなど約300種類を取り扱う。医薬品については副作用のリスクが最も低い第3類を販売する。家電製品の配送で培ったノウハウを生かすと判断した。利便性を高めて新たな顧客獲得につなげる狙い。

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【宇都宮】ビックカメラ傘下のコジマは自社サイト「コジマネット」で医薬品や健康食品の販売を始めた。風邪薬や胃腸薬、栄養サプリメントなど約300種類を取り扱う。医薬品については副作用のリスクが最も低い第3類を販売する。家電製品の配送で培ったノウハウを生かすと判断した。利便性を高めて新たな顧客獲得につなげる狙い。

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

【新潟】新潟県は、H7N9型の鳥インフルエンザウイルスの相談窓口を開設した。H7N9型が日本に侵入した場合に備え、医療機関の紹介など素早く対応できるように体制を整備する。国内で感染者が確認された場合

糖値を測った際に「食事が多かった」などと血糖値の変化の原因を複数の項目から選んで記入できる機能もつけた。

価格は本体が9450円で、血液を吸引するための器具が25枚入りで3675円。

県は新型インフルエンザの対策を定めた特別措置法に基づき、県の行動計画を夏ごろをめどに改定する。新型インフルエンザの発生段階や対策の区分を政府の行動計画案に準じて修正する。

緊急事態宣言が発令された場合は外出自粛や感染予防の徹底要請などを円滑に運用できるようにする。

日本経済新聞

5月3日

金曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 電話(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 電話(06)6943-7111
 名古屋支社 電話(052)243-3311
 西部支社 電話(092)473-3300
 札幌支社 電話(011)281-3211

繰り返し使えるマスク

グローバルキャスト 特殊な触媒利用

環境関連商品などを販売するグローバルキャスト(名古屋市)はウイルスを不活性化し細菌を分解する機能がある特許技術「ナノダイヤモンド触媒」を利用したマスクを今秋に発売する。防臭力にも優れるマスクで繰り返し使える。中部を中心にドラッグストア向けなどに販売し、初年度1億2000万円の売り上げを目指す。

マスク専門メーカーの横井定(同市)と共同開発した。価格は5枚400円程度となる見込みで、高機能マスクとして売り込む。マスクは3層構造で、内側の不織布にナノダイヤが含まれる特殊なコーティング剤を吹き付けて製造する。不織布のマスクは通常使い捨てられるが、抗菌・防臭機能を持つ

菌の繁殖を抑えるため複数回使える。北里環境科学センター(相模原市)の検証結果によると、ナノダイヤ触媒はA型インフルエンザウイルス(H1N1型)を99%以上不活性化する。国内では鳥インフルエンザや微小粒子状物質「PM2.5」に対する懸念が高まっていることから、「高機能マスクの需要拡大が見込める」(グ

ローバルキャスト)と判断した。

国内で販売されている高機能マスクには「光触媒」を利用したものがあるが、光の届かないところでは抗菌などの機能が十分に発揮されないケースがある。ナノダイヤは光量や温度の影響を受けないという。